

橿原市第4次総合計画 後期基本計画の策定に関する 各種アンケートについて

各種アンケートの実施

- ・ 橿原市第4次総合計画 後期基本計画策定にあたり、市民から幅広く意見を聴取するため、下記のとおりアンケートを実施しました。

◆各種アンケート一覧

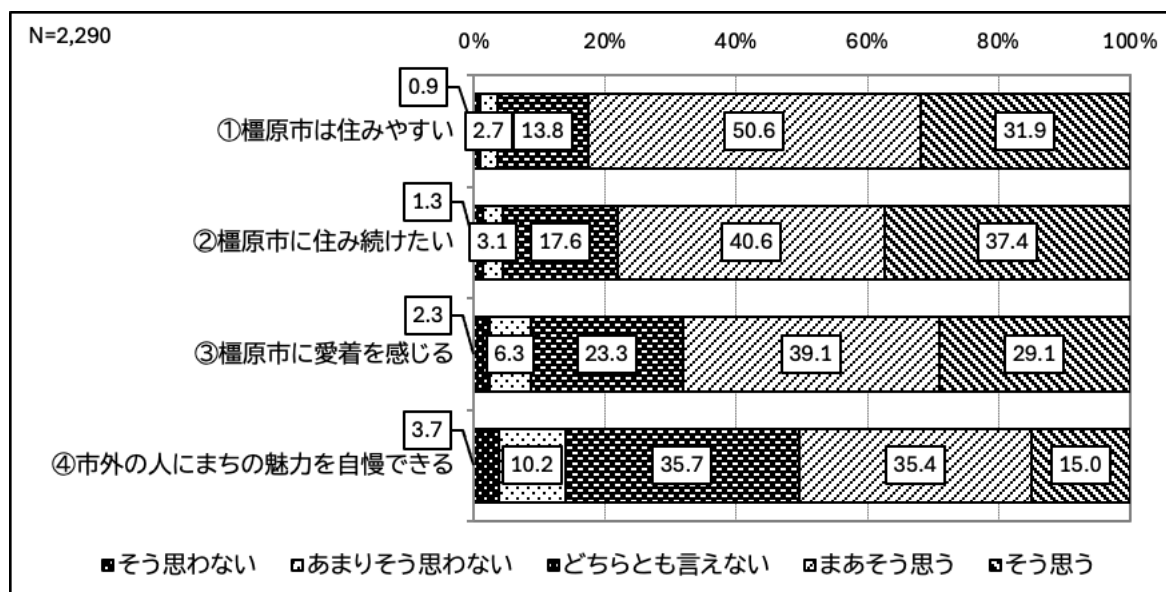
| アンケート名称 | 実施時期 | 対象者 | 手法 | 回収状況 |
|--|--------------------------------|---|---|--|
| 令和6年度 橿原市政に関する 市民アンケート (市民意識調査) | 令和6年11月7日 (火)～11月25日 (月) | 令和6年11月1日 現在の住民基本台 帳及び外国人登録 データに登載され ている18歳以上の 市民5,000人を無 作為に抽出 | 郵送による配布・回 収、WEBフォーム を用いたインターネ ット調査 | 回収数:2,290件 回収率:45.9% (配布数4,990件 住所不明、受取拒 否による不達10件 を除く) |
| 令和6年度 橿原市政に関する 中学生アンケート | 令和7年1月7日 (火)～1月17日 (金) | 市立中学校全6校 (夜間中学除く)の 中学2年生 921人 | WEBフォームを用 いたインターネット 調査 | 668件 (回収率72.5%) |
| 令和6年度 転入出者アンケー ト | 令和7年1月27 日(月)～3月14 日(金) | 調査実施期間中に 市民窓口課にて転 入出の手続きを行 なった方 | 市民窓口課にて転 入出の手続きを行 なった方に調査票 を配布し、回収 | 転入者:215件 転出者:217件 合計:432件 |

(1)市民アンケート

橿原市のイメージ・住みやすさについて

橿原市の住みやすさなどについて（単数回答）

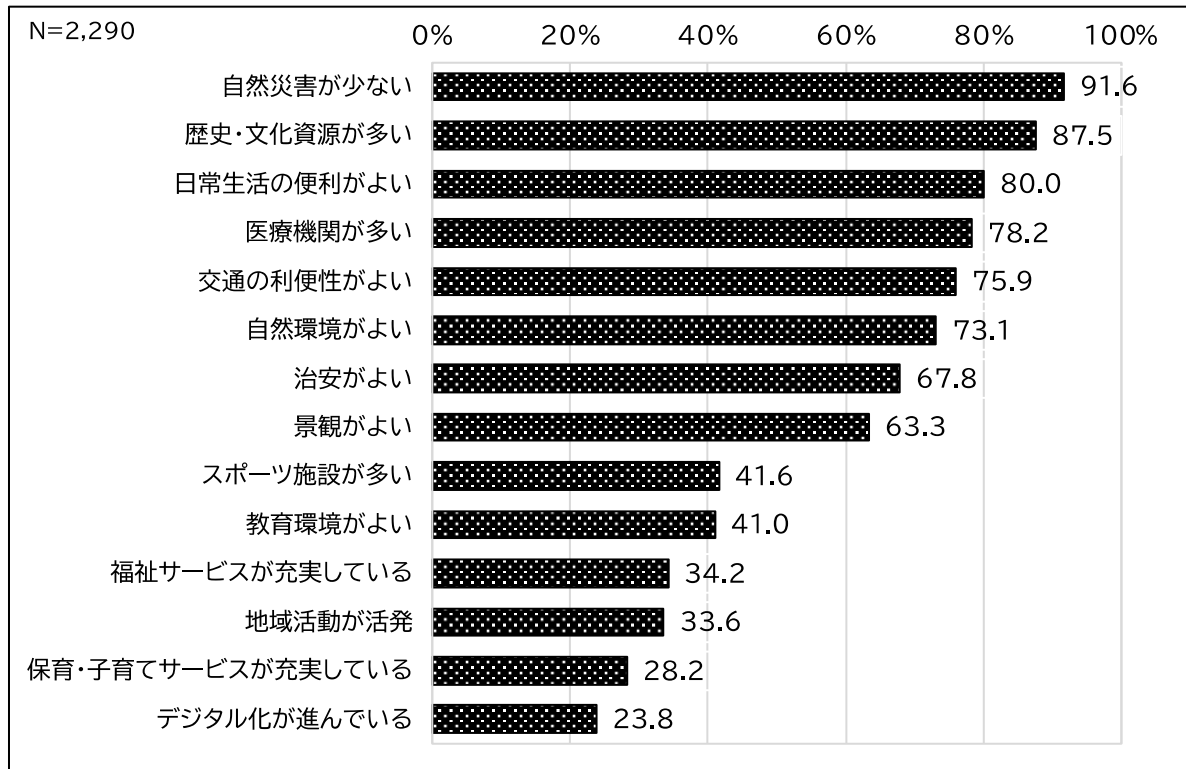
- ・ すべての設問において、「そう思う」「まあそう思う」の合計が50%以上となっています。



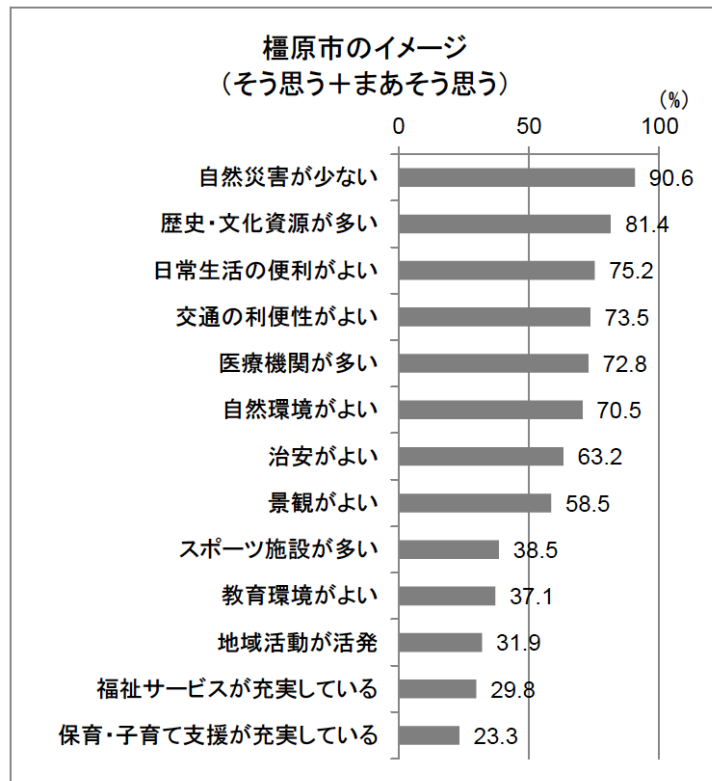
檀原市のイメージについて（単数回答）

- 「そう思う」「まあそう思う」の合計が最も高いのは「自然災害が少ない」が91.6%、次いで「歴史・文化資源が多い」が87.5%、「日常生活の便利がよい」が80.0%となっています。
- 前回調査(H30年実施)と比較して、順位に大きな変化は見られません。

「そう思う」「まあそう思う」の合計値



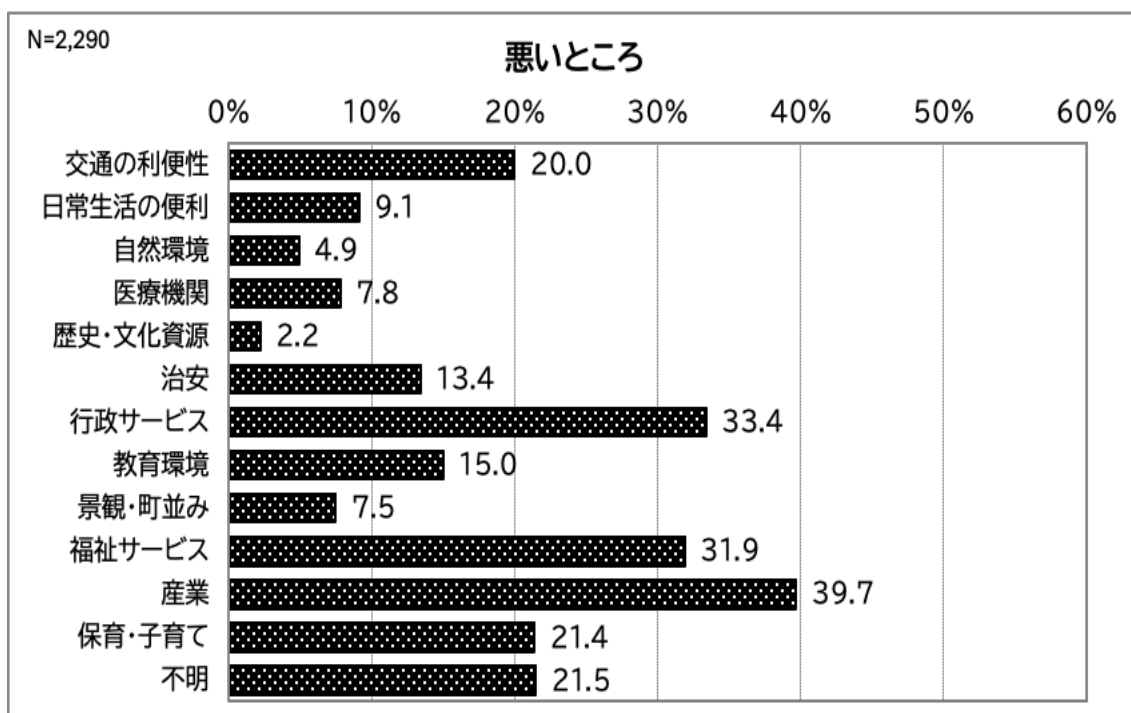
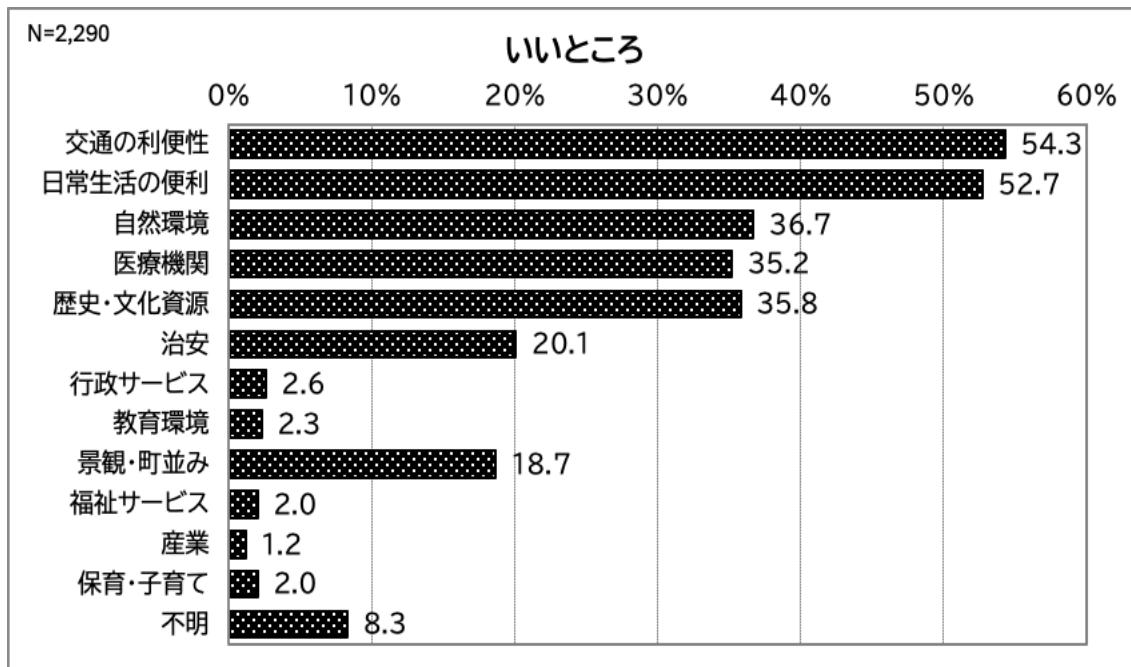
【参考】前回調査結果



檀原市のいいところ／悪いところ（複数回答 それぞれ3つまで）

いいところ…交通の利便性が54.3%と最も高く、日常生活の便利が52.7%、自然環境が36.7%と続いています。

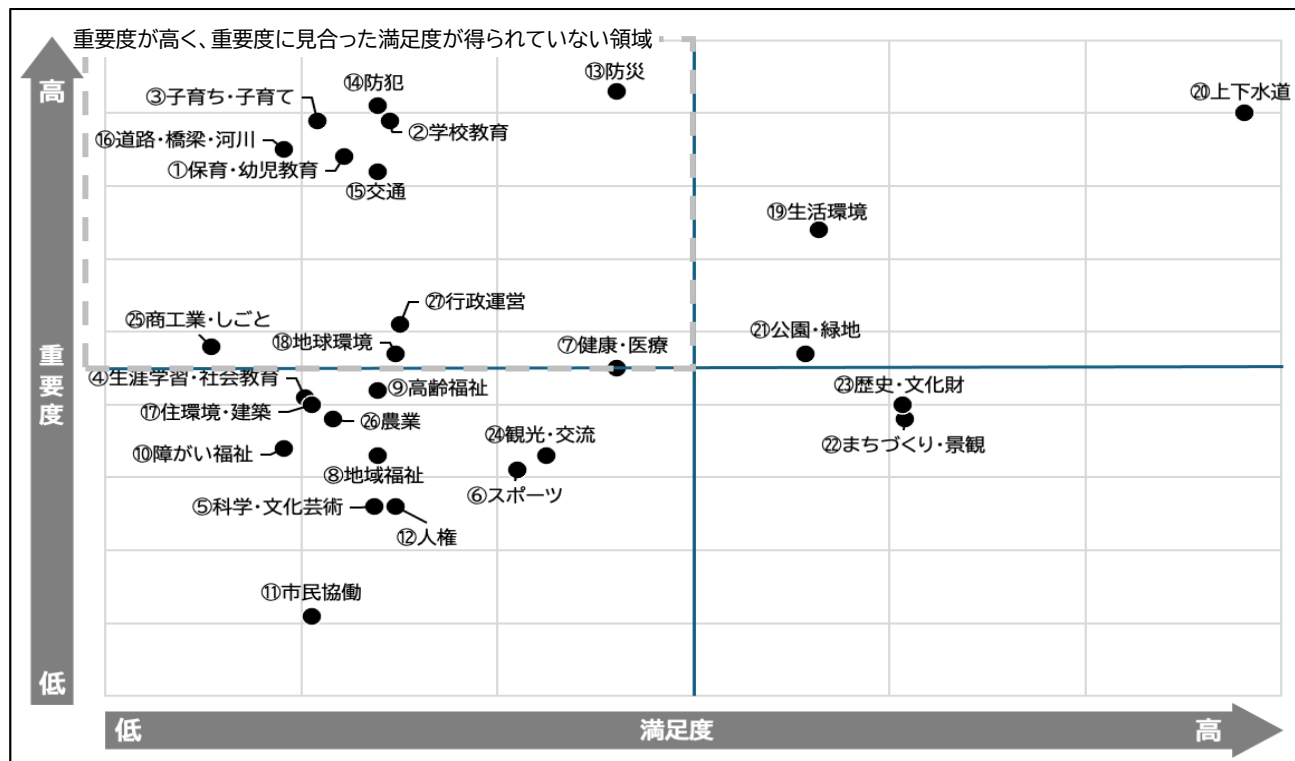
悪いところ…産業が39.7%と最も高く、行政サービスが33.4%、福祉サービスが31.9%と続いています。



市が目指してきた「まちの姿」の達成状況と、これからの取組みの重要性について

前期基本計画の27の施策における「目指す姿」の重要度と満足度

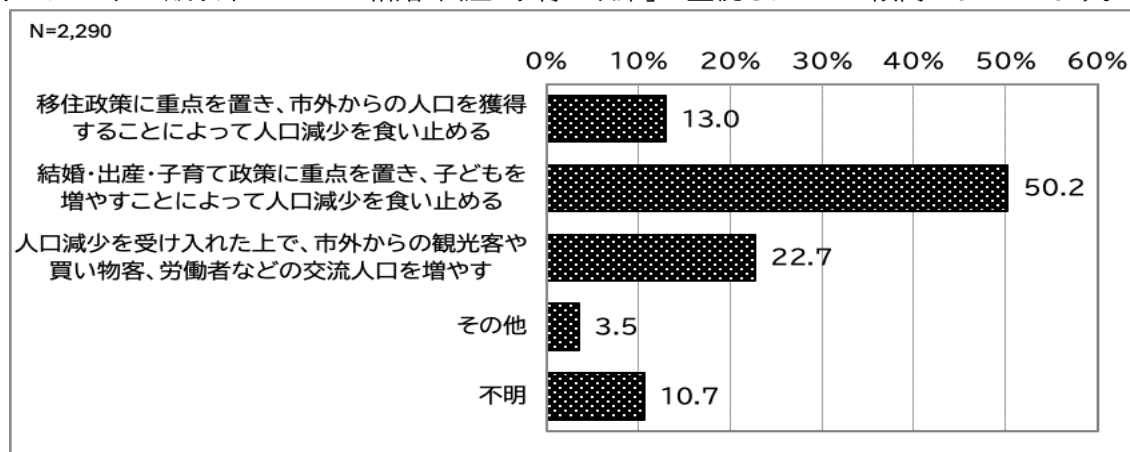
- 市民が、重要度が高いと感じているが満足度が低い施策の上位は「⑩道路・橋梁・河川」、「③子育て・子育て」「④防犯」となっています。



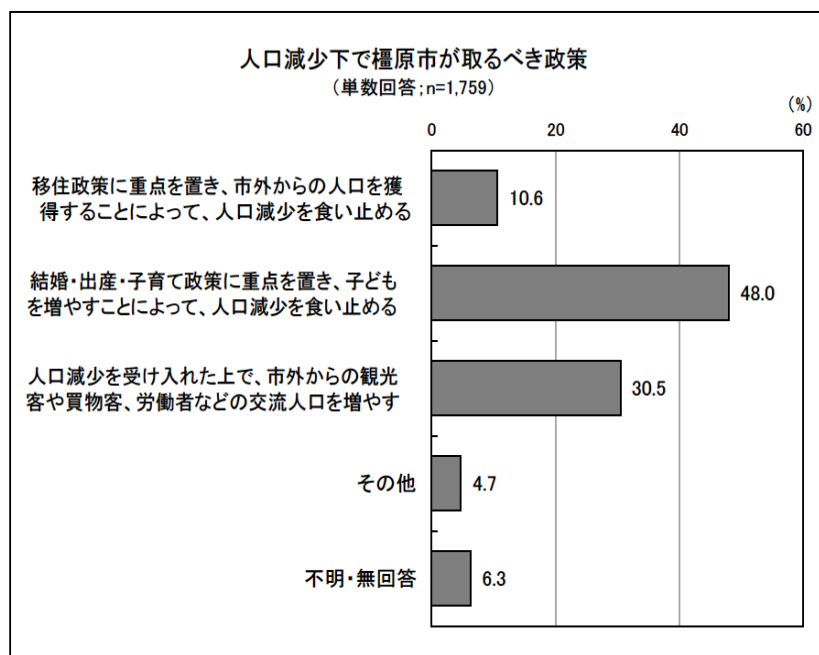
今後の檀原市について

人口減少下で檀原市がとるべき政策について（単数回答）

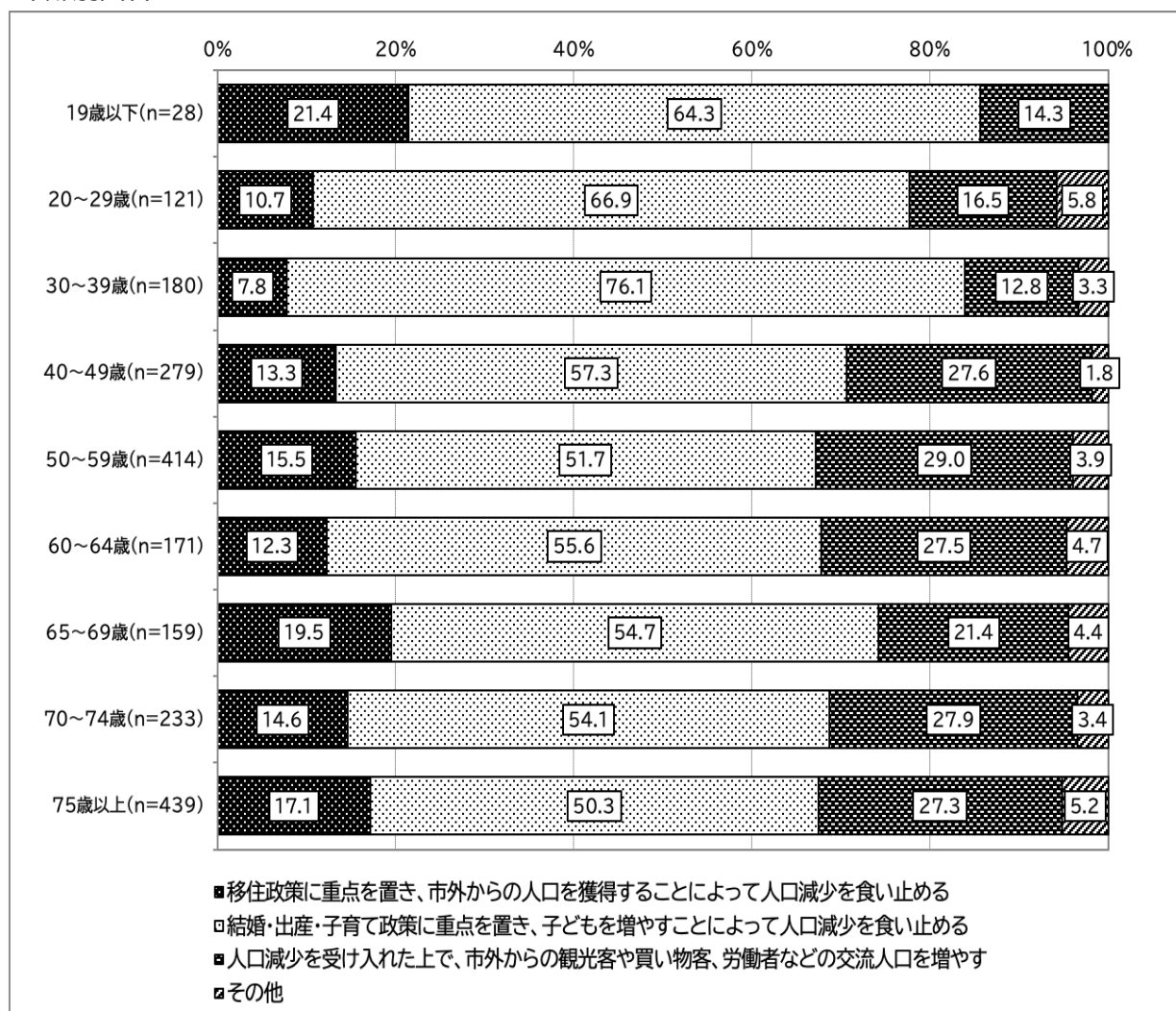
- 「結婚・出産・子育て政策に重点を置き、子どもを増やすことによって人口減少を食い止める」が50.2%と最も高くなっています。
- 前回調査と比較し、「移住政策に重点を置く」と回答した方の割合が減少し、「交流人口を増やす」と回答した方の割合が増加しているものの、大きな変化はありません。
- 年齢別にみると、39歳以下において「結婚・出産・子育て政策」が重視されている傾向となっています。



【参考】前回調査結果

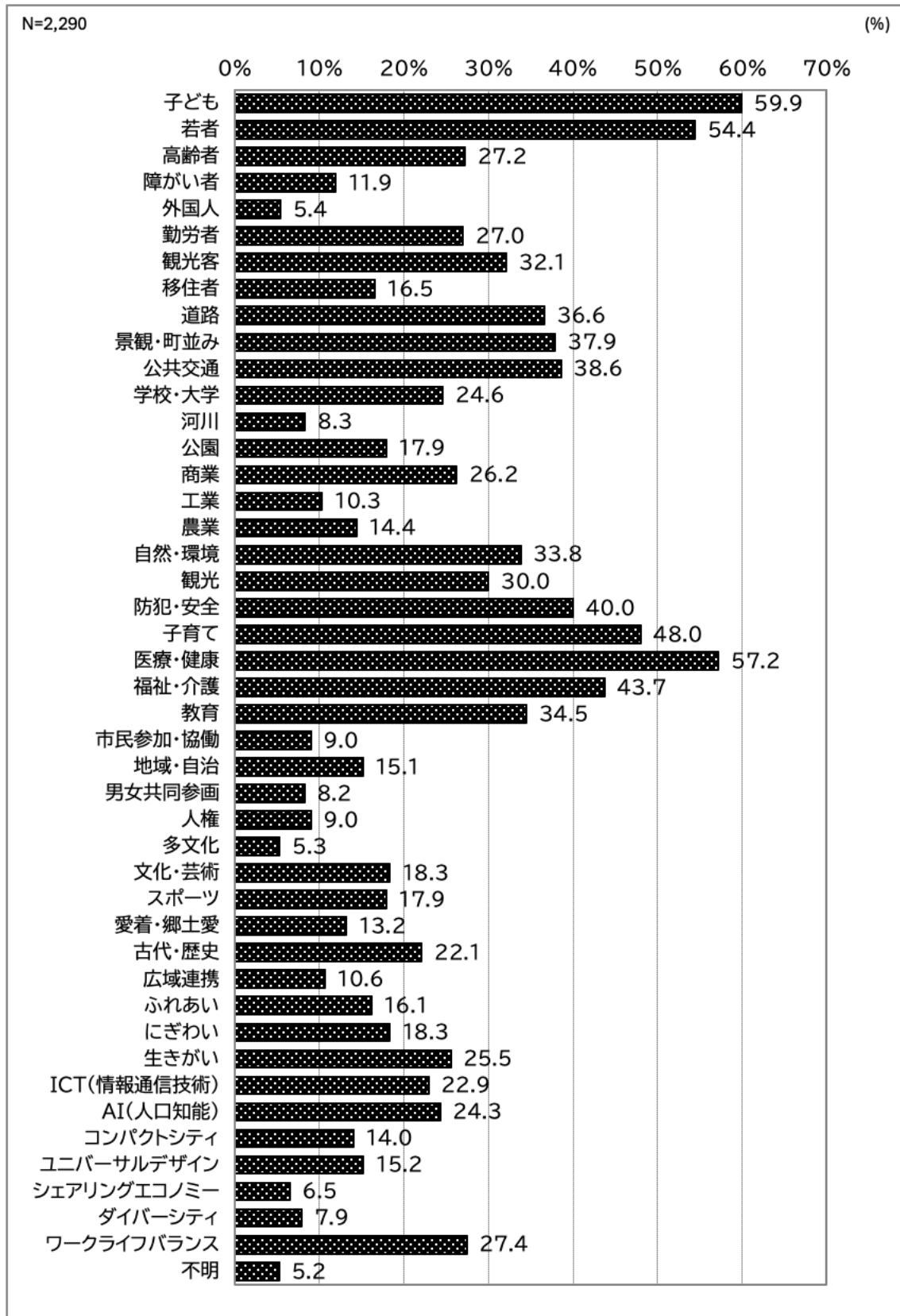


年齢別回答



橿原市の将来において、市を特徴づけるキーワードになったらよいと思うもの(複数回答)

- 「子ども」が59.9%と最も高く、次いで「医療・健康」が57.2%、「若者」が54.4%と続いています。

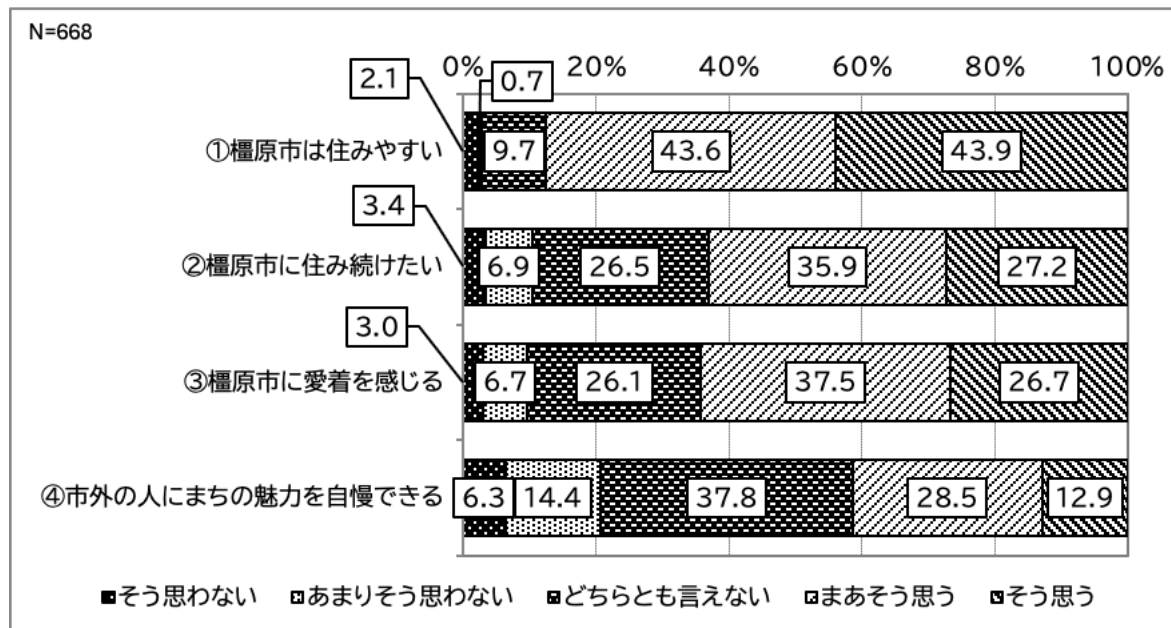


(2)中学生アンケート

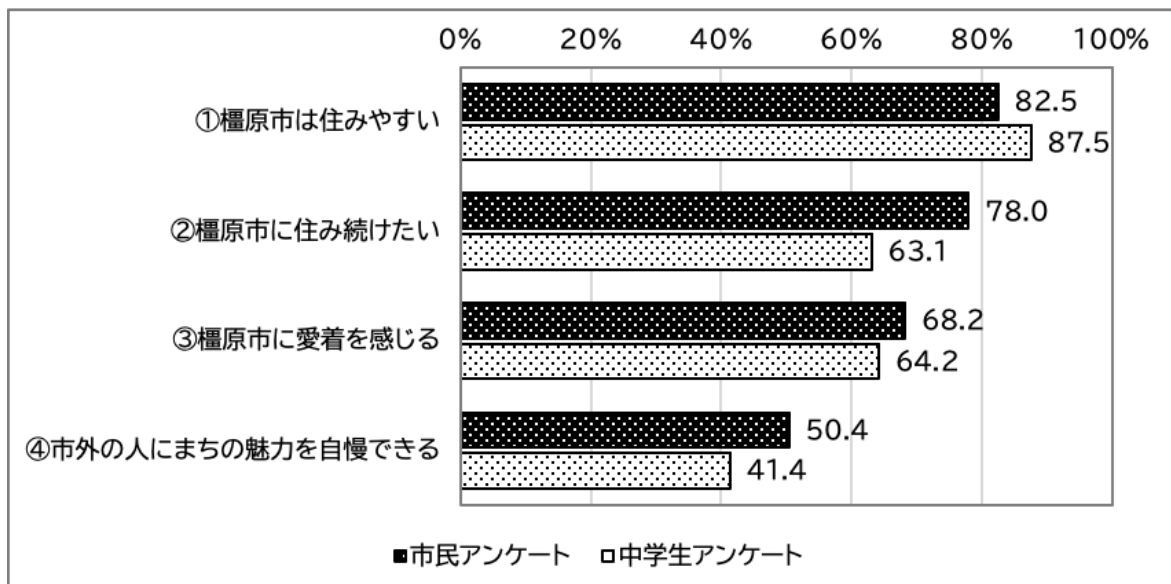
橿原市のイメージ・住みやすさなどについて

橿原市の住みやすさなどについて（単数回答）

- 「そう思う」「まあそう思う」の割合を市民アンケートと比較すると、「①橿原市は住みやすい」が87.5%と、市民アンケートを上回る評価を得ています。
- 一方で、「②橿原市に住み続けたい」が63.1%、「③橿原市に愛着を感じる」が64.2%、「④市外の人にまちの魅力を自慢できる」が41.4%と、市民アンケートよりも低くなっています。



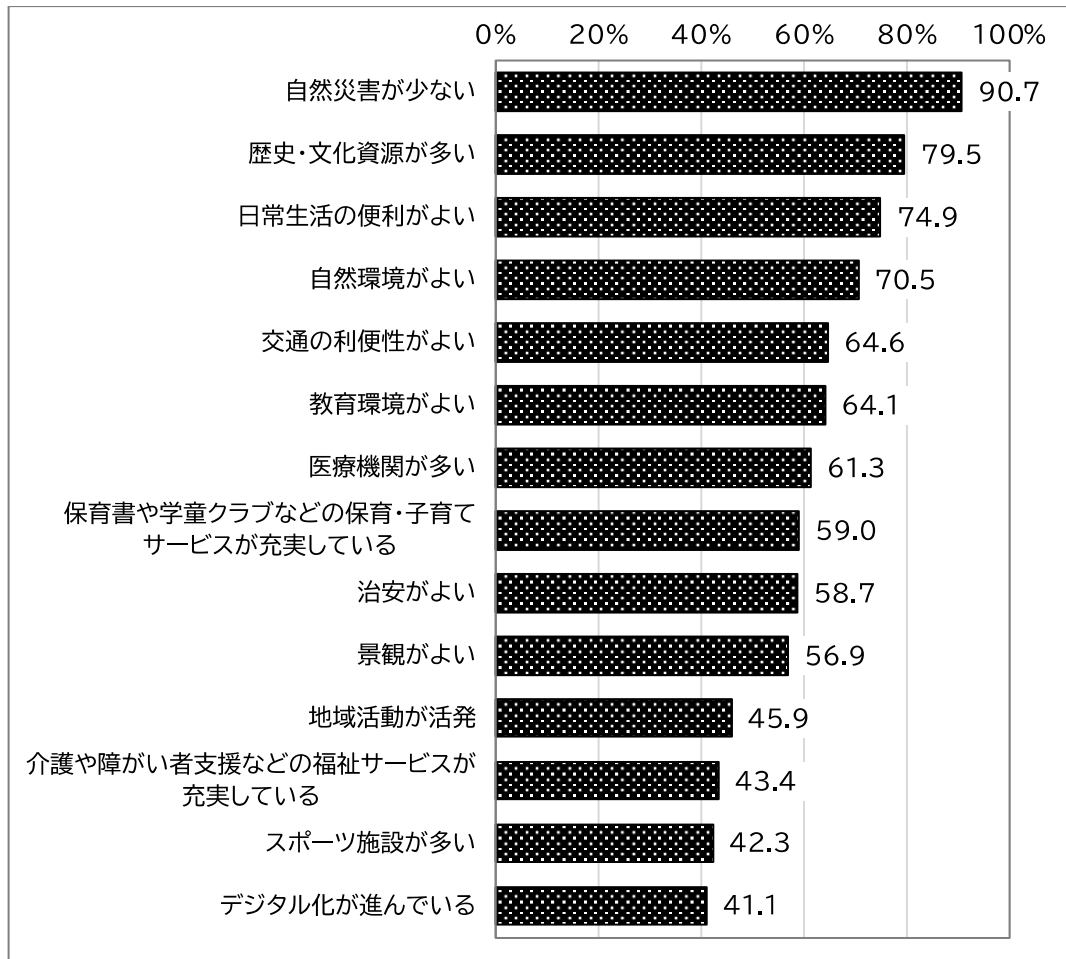
「そう思う」「まあそう思う」の合計値を市民アンケートと比較



檀原市のイメージについて(単数回答)

- 「思う」「まあ思う」の割合が最も高いのは「自然災害が少ない」が90.7%、次いで「歴史・文化資源が多い」が79.5%、「日常生活の便利がよい」が74.9%となっています。
- 市民アンケートと比較して、順位に大きな変化は見られません。

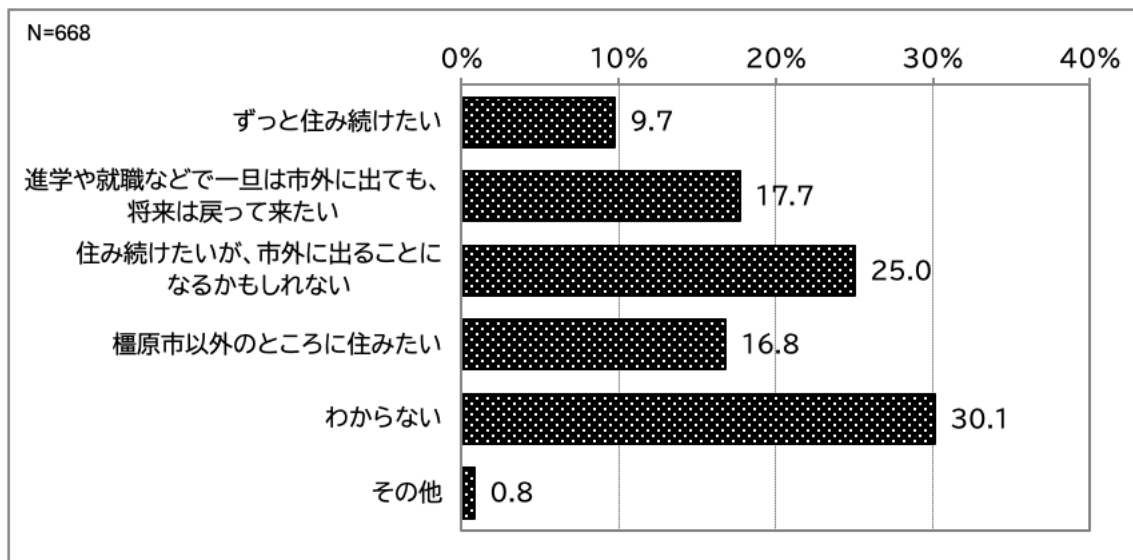
「思う」「まあ思う」の合計値



将来について

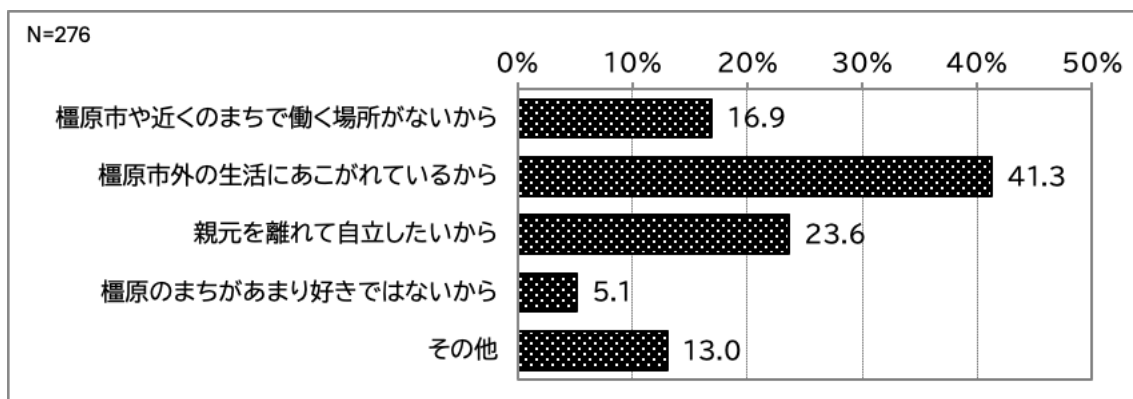
檀原市に住み続けたいと思うか (単数回答)

- 「わからない」を除くと、「住み続けたいが、市外に出ることになるかもしれない」が25.0%と最も高く、次いで「進学や就職などで一旦は市外に出ても、将来は戻って来たい」が17.7%、「檀原市以外のところに住みたい」が16.8%となっています。
- 「ずっと住み続けたい」、「進学や就職などで一旦は市外に出ても、将来は戻って来たい」の合計27.4%が定住意向を持っていると考えられるのに対し、「住み続けたいが市外に出ることになるかもしれない」、「檀原市以外のところに住みたい」の合計41.8%が市外に出ることを視野に入れていると考えられます。



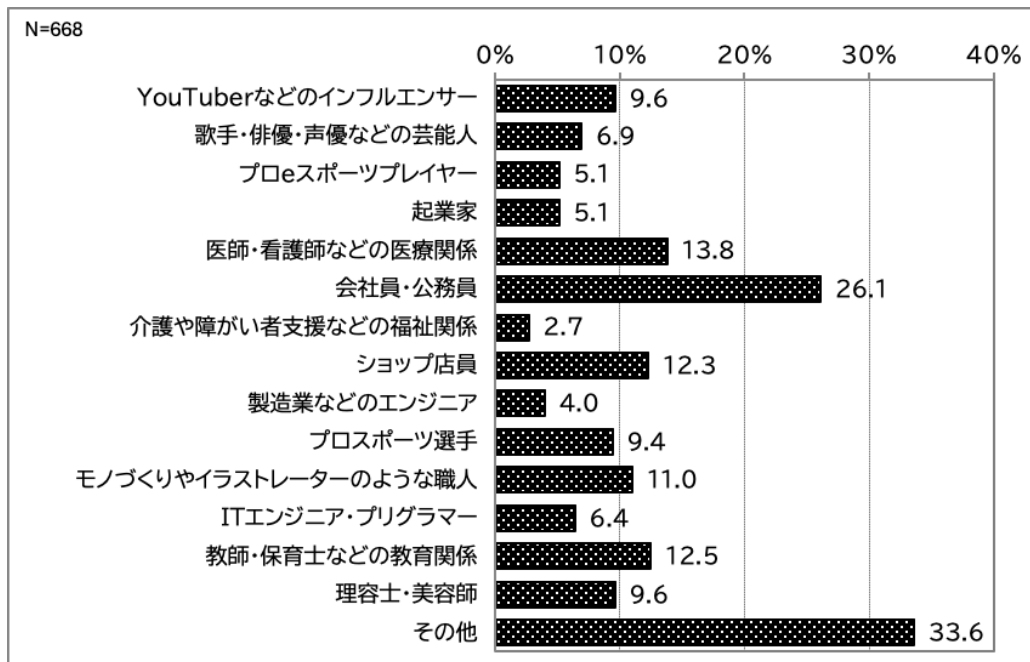
市外に出ることを視野に入れている理由について（単数回答）

- 「檀原市外の生活に憧れているから」が41.3%と最も高く、次いで「親元を離れて自立したいから」が23.6%、「檀原市や近くのまちで働く場所がないから」が16.9%となっています。
- 若い世代にとって市外での生活はあこがれともなっており、住みたいと思えるまちにするための対策が必要となっています。



将来なりたい職業について（複数回答 3つまで）

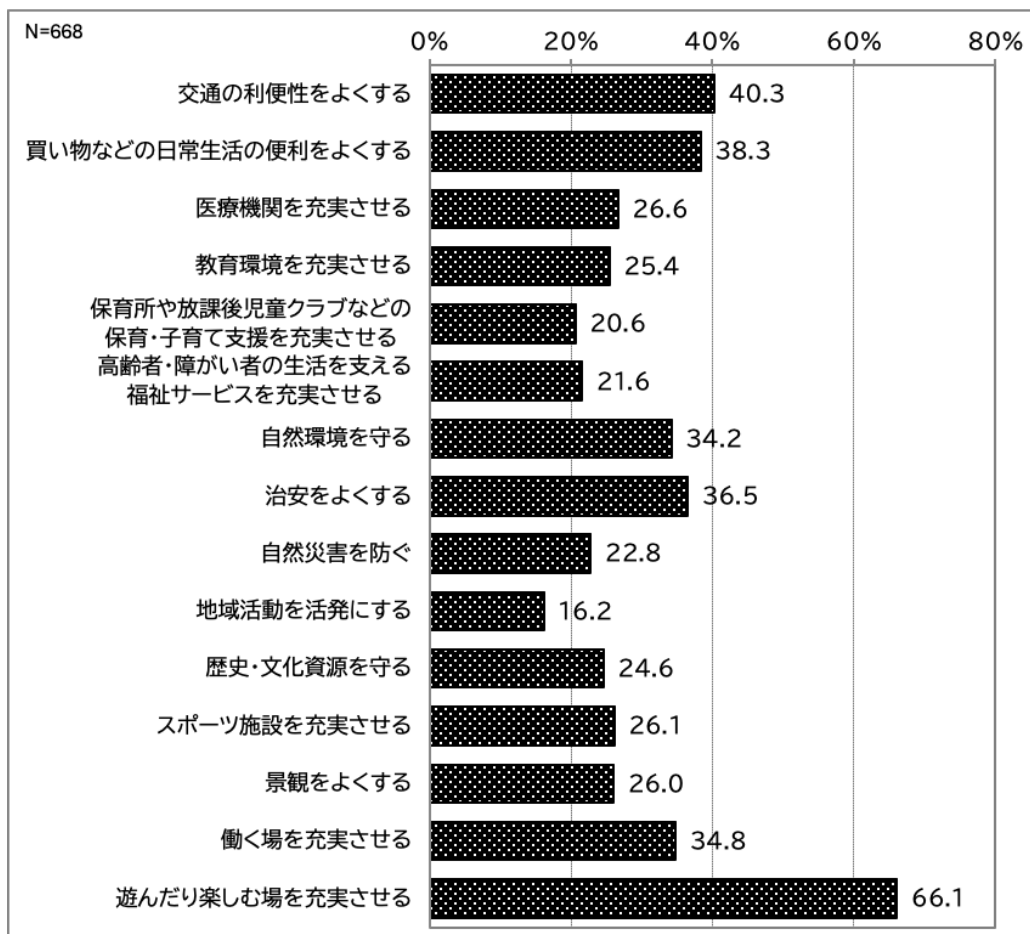
- 「会社員・公務員」が26.1%と最も高く、次いで「医師・看護師などの医療関係」が13.8%、「教師・保育士などの教育関係」が12.5%となっています。
- 「その他」においては「わからない・まだ考えられない」「特になし」が多く見られましたが、「警察官・自衛官・消防士」、「ゲーム配信者・ゲームクリエイター」「メイクアップアーティストやネイリストなどの美容関係」といった意見も見られました。



橿原市の将来について

住み続けたいと思えるまちにするために必要だと思うこと（複数回答）

- 「遊んだり楽しむ場を充実させる」が66.1%と最も高く、次いで「交通の利便性をよくする」が40.3%、「買い物などの日常生活の便利をよくする」が38.3%となっています。
- 中学生世代は特に、日常生活が充実する場や手段の整備を求めていると考えられます。

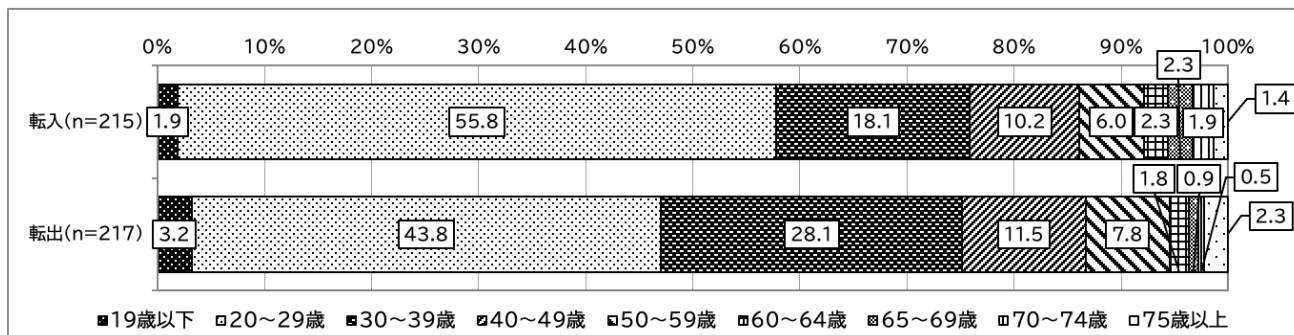


(3) 転入出者アンケート

転入出者の属性や傾向について

年齢

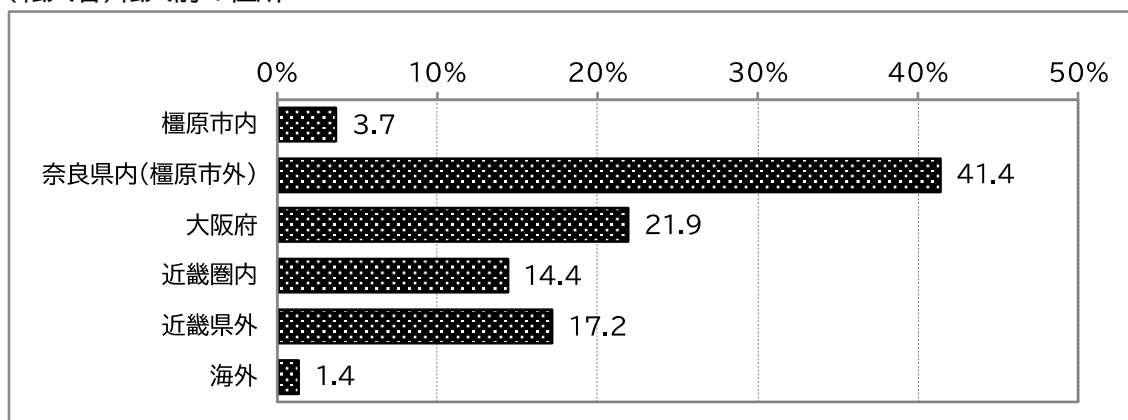
- 転入、転出ともに49歳以下の割合が80%以上となっています。



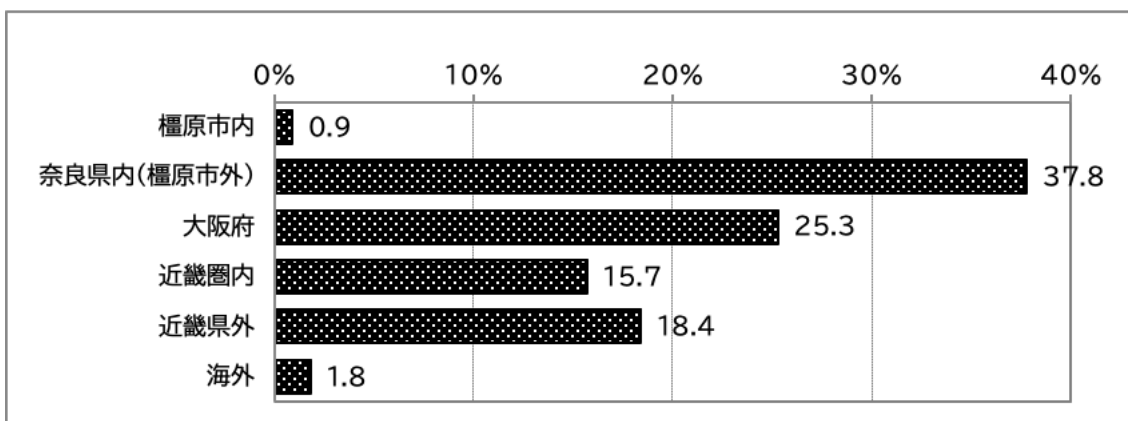
住所の変化

- 転入、転出ともに「奈良県内(橿原市外)」が最も高くなっており、県内での人口移動の割合が高い状況となっています。

(転入者)転入前の住所

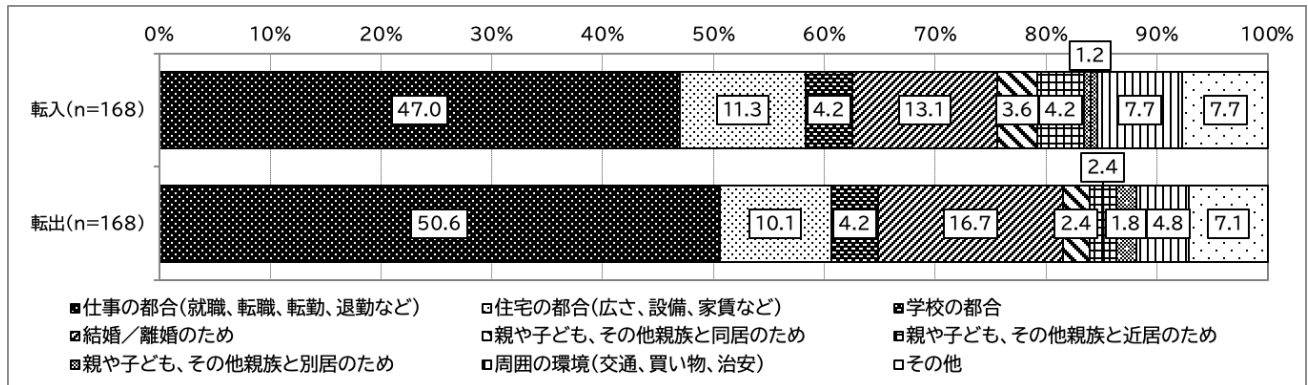


(転出)転出後の住所



移動の理由について（単数回答）

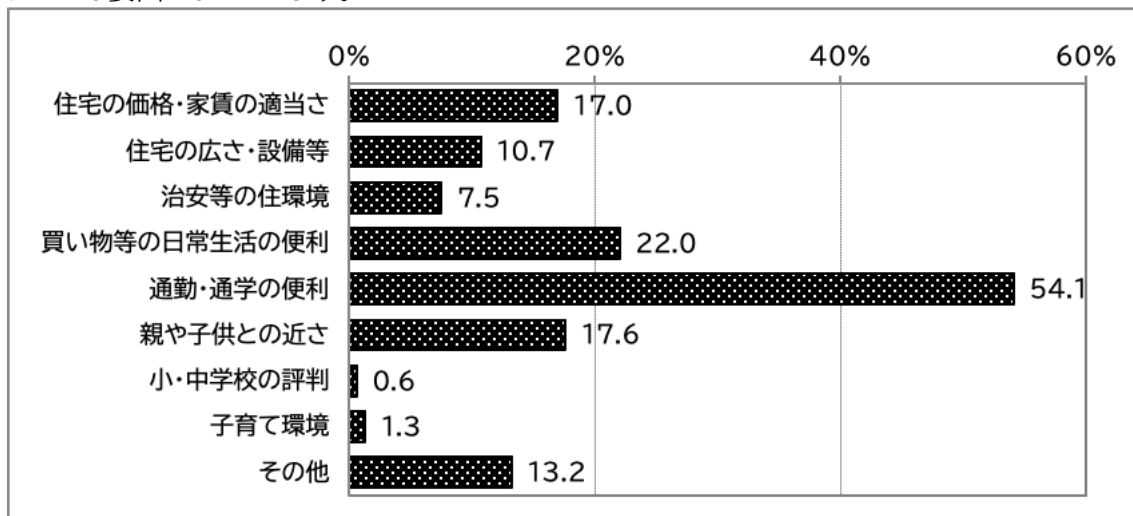
- 転入、転出ともに「仕事の都合（就職、転職、転勤、退職など）」が最も多く、次いで「結婚／離婚のため」となっています。



転入について

檀原市を選んだ理由（複数回答）

- 「通勤・通学の便利」が54.1%と最も高く、次いで「買い物等の日常生活の便利」が22.0%、「親や子どもとの近さ」が17.6%となっています。
- 市民アンケートでも「檀原市のいいところ」として上位だった「交通の利便性」「日常生活の便利」が、檀原市が選ばれる主な要因となっています。

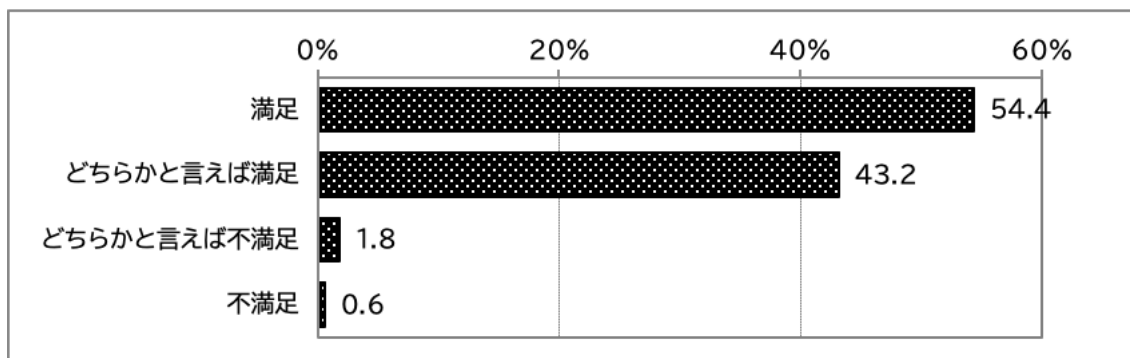


転出について

檀原市への評価について

- 「満足」が54.4%と最も高く、次いで「どちらかと言えば満足」が43.2%となっています。
- 「満足」、「どちらかと言えば満足」を合計すると97.6%となり、転出はするものの、まちに対する満足度は高いといえます。
- 再居住意向を問う設問においても「住みたい」が54.2%と最も高くなっています。

檀原市への満足度(単数回答)



檀原市にまた住みたいと思うか(単数回答)

